

第22回大気化学討論会 口頭発表プログラム

10月12日(水)

講演時間	講演番号	タイトル	発表者
13:00 - 13:10	開会挨拶・LOCアナウンス		
森林の大気化学 座長：竹川 秀人			
13:10 - 13:30	K-1-1	ボルネオ熱帯雨林における塩化メチル放出量の樹種間差とその規定要因	斉藤 拓也
13:30 - 13:50	K-1-2	京都市内と東京多摩丘陵での新粒子生成の比較:イソプレンによる抑制効果	車 裕輝
13:50 - 14:10	K-1-3	富士山麓森林におけるオゾンと窒素酸化物フラックス計測の検討	和田 龍一
温室効果気体 座長：井上 誠			
14:10 - 14:30	K-1-4	地上設置高分解能FTIRを用いた温室効果ガスの観測の進展	森野 勇
14:30 - 14:50	K-1-5	航空機観測データを用いたGOSAT/TANSO-FTS TIR CH <sub>4</sub> データの評価	野々垣 亮介
14:50 - 15:10	休憩(20分)		
15:10 - 15:30	K-1-6	大都市における大気中酸素濃度とCO <sub>2</sub> フラックスの同時観測によるCO <sub>2</sub> と都市排熱の起源別放出量評価	石戸谷 重之
15:30 - 15:50	K-1-7	大阪府における人為起源二酸化炭素排出インベントリの時空間分解能向上	森 豊
15:50 - 16:10	K-1-8	大気観測用高精度酸素標準ガスの開発	青木 伸行
上部対流圏と下部成層圏の大気 座長：稲飯 洋一			
16:10 - 16:30	K-1-9	二粒径エアロゾル分布条件下での熱帯対流圏界層内巻雲生成	三村 慧
16:30 - 16:50	K-1-10	大気重力分離の時定数	菅原 敏
16:50 - 17:00	休憩(10分)		
17:00 - 19:00	ポスターセッション (17:00-18:00奇数番号、18:00-19:00偶数番号)		

10月13日(木)

時間	講演番号	タイトル	発表者
8:55 - 9:00	LOCアナウンス		
対流圏大気化学I 座長：江波 進一			
9:00 - 9:20	K-2-1	日本上空における対流圏オゾン濃度の最近の変化	谷本 浩志
9:20 - 9:40	K-2-2	Long term multi component MAX-DOAS observation in Phimai, Thailand	Hossain Mohammed Syedul Hoque
9:40 - 10:00	K-2-3	中国上空におけるオゾンの増加:モデルシミュレーションと衛星観測の比較	梶野 瑞王
10:00 - 10:20	休憩(20分)		
特別講演 座長：宮崎 雄三			
10:20 - 10:50	S-1	北東ロシア北極圏河川低地におけるメタン生成と放出	杉本 敦子
10:50 - 11:20	S-2	バイオエアロゾルと環境中微粒子の関係:健康影響等について	能田 淳
11:20 - 12:30	昼食休憩(1時間10分)		
海洋の大気化学 座長：竹谷 文一			
12:30 - 12:50	K-2-4	エアロゾルの表面で起こる不均一ハロゲンラジカル反応の研究	江波 進一
12:50 - 13:10	K-2-5	レーザーポンプ・プローブ法を用いたエアロゾルによるOHラジカル取り込み速度の新規測定法の開発	坂本 陽介
13:10 - 13:30	K-2-6	海塩粒子中の還元型硫黄化学種の検出とその酸化反応抑制に関する研究	坂田 昂平
13:30 - 13:50	K-2-7	海洋大気における海塩粒子と非海塩性硫酸塩の関係	植松 光夫
13:50 - 14:10	K-2-8	梅雨期の伊豆・小笠原海域において捕集した海洋性エアロゾルの個別粒子分析	吉末 百花
14:10 - 14:20	休憩(10分)		
14:20 - 16:20	ポスターセッション (14:20-15:20奇数番号、15:20-16:20偶数番号)		
16:20 - 17:30	総会・奨励賞受賞講演 丹羽洋介(気象研究所)、桑田幹哲(南洋工科大学)		
18:00 - 20:00	懇親会		

10月14日(金)

時間	講演番号	タイトル	発表者
8:55 - 9:00	LOCアナウンス		
対流圏大気化学II 座長：池田 恒平			
9:00 - 9:20	K-3-1	大気中の窒素酸化物類の窒素同位体比について	角皆 潤
9:20 - 9:40	K-3-2	自動車排気ガス中の亜硝酸(HONO)排出量の測定	中嶋 吉弘
9:40 - 10:00	K-3-3	全球化学輸送モデルにおける対流圏窒素酸化物(NO <sub>x</sub> )分布の水平解像度依存性	関谷 高志
10:00 - 10:20	K-3-4	全球から領域規模に対応した大気汚染物質輸送モデルとその応用	五藤 大輔
10:20 - 10:40	休憩(20分)		
エアロゾルの気候影響 座長：桑田 幹哲			
10:40 - 11:00	K-3-5	太陽放射観測から得られた北海道のエアロゾルの光学的特性の経年変化	青木 一真
11:00 - 11:20	K-3-6	タグ付きトレーサーモデルを用いた北極域へのブラックカーボン長距離輸送の解析	池田 恒平
11:20 - 11:40	K-3-7	小惑星衝突により発生したすすによる気候変動-恐竜などの大量絶滅の可能性-	大島 長
放射性物質の大気化学 座長：斉藤 拓也			
11:40 - 12:00	K-3-8	全球大気拡散シミュレーションに基づく放射性ヨウ素の大気輸送の季節変動解析	門脇 正尚
12:00 - 12:20	K-3-9	福島原発事故直後の大気中放射性ヨウ素の動態(その1)	鶴田 治雄
12:20 - 12:30	学生優秀賞の発表・表彰、閉会		